



第二中だより

No. 608

生徒数 524 名

令和 6 年 1 月 9 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「躍動する一年に」

校長 橋本 真

「新年あけましておめでとうございます」 令和 6 年、辰年がスタートしました。十二支の中で辰は、5 番目に数えられます。辰年は、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だという言い伝えがあるそうです。また、「竜」のつく言葉では、「登竜門」など、中国の故事に由来する言葉があります。

「登竜門」は、成功への一步となる難関という意味があります。今年は、辰年にあやかって難関を突破し、大きく飛躍する年にしてください。

さて、『一年の計は元旦にあり』ということですが、自分は何をしたいのか、何をしなければならないのか、何ができるのかをよく考えて、「今年こそは」と新しい年への決意が大切です。明日から授業が始まりますが、この時期は 3 年生にとっては目前に迫った入試に向けて、1・2 年生は進級に向けての準備の時期であると同時に、年度という学年の締めくくりの時期でもあります。自分の決意を確実に実践して充実した 3 学期にしてほしいと思います。

3 年生に望むこと

3 年生は今、進路実現という試練に直面していますが、その試練に真剣に向き合い、乗り越えていく力が試されます。逃げない決意と立ち向かう覚悟を決めたとき、きっと新しい状況が生まれ、希望への光が見えてくるはずですが、とはいえ、本番が近付くと不安な気持ちになるのは当然なことです。こうした不安の中にいるのは自分一人だけではありません。高校受験に臨む多くの受験生は同じ心境の中にあり、同じ思いで本番を迎えようとしているこんな

時こそ、これまで学校生活を共にしてきた仲間がいることを思い出してほしいと思います。志望する進路はそれぞれ異なりますが、気持ちでは、みんなが支え合い、みんながこの受験という壁を乗り越えてほしいと思います。受験は個人戦ではなく団体戦です。

1・2 年生に望むこと

1、2 年生にとってもこれからの 3 か月はそれぞれの学年のまとめの時期でもあり、そしてまた、4 月からの新たな学年の準備の時期でもあります。“0 学期”という言葉がありますが、これは次の学年のために行動面や意識の面で準備をするということです。特に、1 年生は、この 4 月には新入生が入学してきます。先輩と呼ばれて、恥ずかしくないようにきちんとした生活を心がけ、学習、部活動に一生懸命に励んでほしいものです。また、2 年生はこの 4 月には最上級生になります。それは、1、2 年生のよき模範であり、学校の顔として責任ある行動が求められます。この 0 学期の間に、和光市立第二中学校の最上級生としての自覚を培ってください。

特に、学習・生活面にしっかり取り組んできたことや、あいさつも含め礼儀正しく、学校行事にも本気で取り組む姿勢など、これからも伝統として引き継いでほしいものです。

植物は冬を越えてこそ春に美しい花を咲かせることができます。人間も苦労があるからこそ楽しさや喜びを感じることができるものです。試練を経験することで生きている意味もわかり、生きることの楽しさや厳しさを味わえるものです。